

福井県社保協 F A X 通信

2020年度 第5号 9月30日

発行責任者
福井県社会保障推進協議会
事務局長 佐々木 紀明

<http://fkshk.web.fc2.com/>

第1回運営委員会を開催しました

7月18日に開催した第19回総会后、最初の運営委員会を9月25日に開催しました。今回の運営委員会では、総会後の運動を確認し、秋からの運動のすすめかたを話し合いました。

(1) 情勢討議

①新聞記事を材料に、この間の情勢討議をし、以下の点を確認しました。

- ・新型コロナウイルスによる休業や自粛による減収によって、9月半ばまでに全国で約6万人が失業（コロナ解雇）している。
- ・同様に今春の内定取り消しが174人確認されている。
- ・7月に安倍内閣（当時）が「2020骨太方針」を確定した。「ウィズコロナ、ポストコロナ、新しい日常」など、耳触りが良い言葉を使っているが、役所を先頭にデジタル化、オンライン化を強力にすすめることにより、個々の収入や銀行口座を含めた個人情報を一気に掴むことと、IT企業に儲け口を提供することが狙いであり、社会保障をさらに縮小することにつながる内容になっている。

②安倍内閣退陣、菅新内閣について

- ・安倍前首相が辞任をし、新しく誕生した菅内閣は「安倍政権を継承する」ことを宣言し、同時に「自助、共助、公助」を推し進める方針を表明しました。これによって、安倍政権時代に削減に削減を重ねられ、しかも理念を変質させられた社会保障が、さらに削減に向かうことが明らかになりました。社保協の役割がこれまで以上に大きくなることは明らかです。

③介護保険改悪について

- ・現在は要支援1、2の訪問介護（ヘルパー）と通所介護（デイサービス）について行われている総合事業について、前国会で安倍政権と厚労省は要支援1、2まで対象を拡大することを狙っていましたが、新型コロナウイルスへの対応によって改正法案を成立させることができませんでした。しかし、あきらめきれない安倍前政権と厚労省は、法律改正によらず、省令改正で、しかも対象を要介護5まで広げようとしています。8月25日にパブリックコメントの募集が発表され、9月23日に締め切られました。この改悪は、要介護認定を受けたすべての高齢者を対象にし、介護保険制度を根本から変質させるものです。

(2) 活動報告

①記念講演、第19回総会について

7月18日（土） 教育センター 大ホール

記念講演 講師：滋賀県野洲市 山仲市長

演題：「滞納は市民のSOS」、暮らし支え合い条例を制定して

参加者数 64人

- ・記念講演後に第19回総会を開催し議案の採択と役員を選出をおこないました。

- ・総会では、「地域社保協助成費」を20万円計上した予算案を採択しました。後援会の会場費や講師料などに活用し、地域社保協づくりをすすめることが呼びかけられました。すでに確立している地域社保協（嶺南、丹南、福井市）も含め、今年度の活動をすすめるなかで活用しましょう。

②医療・介護事業所への助成を求める緊急要請書

- ・6月に県内400の医療機関と介護事業所に送付した緊急要請書が、101の事業から集約され、29の「私たちの一言」が寄せられました。（詳細は前号をご参照ください。）
- ・集約された緊急要請書は8月25日に中央社保協を通じて厚生労働省に提出しました。

③第64回中央社保協総会

- ・第64回中央社保協総会が9月2日（水）に開催されました。今年度の総会は首都圏の社保協のみが現地参加で、その他はオンライン参加で開催されました。
- ・総会には121人が参加し、討論では18人の参加者がそれぞれの社保協の運動について報告をしました。

④介護保険パブリックコメント

- ・情勢討議で紹介した、介護保険要介護5までの保険はずしについて、嶺南社保協事務局の戸嶋さんに協力をお願いし、福井県社保協のコメントを送付しました。今回の省令改正案と送付したコメントについては福井県社保協のホームページに掲載していますのでぜひご確認ください。

(3) 当面の活動について

①署名

中央社保協として、この秋に次の3つの署名にとりくみます。

- 1) 75歳以上医療費2倍化反対署名
- 2) 新25条署名（いのちの署名）
- 3) 新介護署名

※これら3つの署名用紙は福井県社保協のホームページでご確認ください。

- ・新型コロナウイルス感染への不安から街頭での宣伝や署名活動をおこないにくい状況ですが、福井駅前での署名活動を具体化することを検討します。
- ・署名用紙は中央社保協に発注し、各団体に届けます。
- ・全労連、民医連などのルートから署名用紙が割り振られる団体はその署名用紙を使用してください。
- ・それぞれの署名の集約数を随時集約しますのでご協力をお願いします。

②介護・認知症なんでも無料電話相談

- ・11月11日（水）に中央社保協が「介護・認知症なんでも無料電話相談」にとりくみます。昨年は福井県から1件の相談がありました。各団体の構成員のみなさんに日時と電話番号をご案内ください。

11月11日（水） 10時00分～18時00分 0120-110-458

③地域社保協づくりと12月議会への対応

- ・新しく地域社保協づくりをすすめるなかで、12月議会に請願提出にとりくむ。

子ども医療費助成を高校3年まで拡大する請願

福井市 池田町 越前町 若狭町 小浜市

- ・若狭町と小浜市は嶺南社保協と協議する。
- ・福井市は福井市社保協と請願提出について協議する。
- ・その他の自治体で新型コロナウイルスによる医療機関と介護事業所の減収に対する助成についての請願書を各地域社保協準備会を結成して提出することをめざす。

新型コロナウイルスの影響で収入が減少したら

福井市では新型コロナウイルス感染症の影響で収入が減少した場合の市民税や水道料金の支払いに関する相談窓口を設置しています。また、国保の国保税（料）と窓口負担金の減免も対象になる可能性があります。該当しそうな関係者がありましたらご案内ください。また、福井市以外の自治体でも同様の対応が見込まれますのでご確認ください。

※福井市のホームページ

<http://www.city.fukui.lg.jp/fukusi/iryuu/kensen/p021748.html>